

経営比較分析表（平成29年度決算）

埼玉県 日高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	87.08	1.66	84.98	2,710

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,340	47.48	1,186.60
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
936	0.32	2,925.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収支は、黒字が続いており経営状況は安定しています。

②累積欠損金は発生していません。

③流動比率は100%を下回っていますが、当市の特定環境保全公共下水道事業は公共下水道事業と同一会計のため、次年度の企業債償還に支障が生じることはありません。

④当該値は平均値と比較し相当低い値となっていますが、当市の特定環境保全公共下水道は公共下水道に接続されているため、終末処理場を有していないことが要因となっています。

⑤平均値と比較して当該値はかなり高い。この理由は④と同様で、終末処理場を有していないため、汚水処理原価が低くなっているためです。

⑥平均値と比較し当該値はかなり低い。要因については⑤と同様です。

⑧当該値は高い水準にありますので、引き続き普及促進に努めます。

2. 老朽化の状況について

①特定環境公共下水道は、平成4年の供用開始から25年が経過し、管渠は法定耐用年数の半分を経過しているため、当該値は約50%と平均値に比べ高い数値となっています。

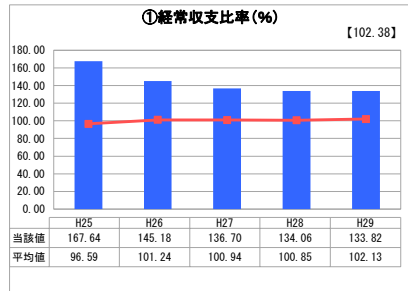
②法定耐用年数を経過した管渠はないが、今後予想される管渠の更新を見据え、計画的に点検等を実施してまいります。

③今後発生する管渠の更新工事にあたっては、費用対効果を検証して効率的に更新工事を実施していきます。

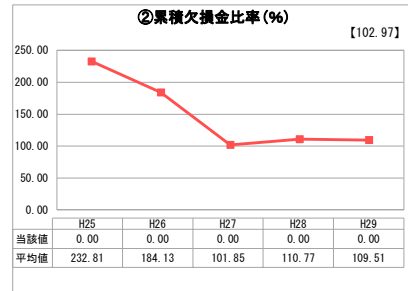
全体総括

当市の特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道に接続し、公共下水道事業の終末処理場で汚水処理を行っているため、他団体と比較して維持管理費は低く抑えられています。
このような要因から経営指標は、平均値と比較し良好であり、経営状況は安定していることが伺えます。
今後も水処理率の向上により使用料収入を確保し、公共用水域の水質保全を図り、公共下水道事業と一体となって施設の効率的な維持管理に努めていきます。

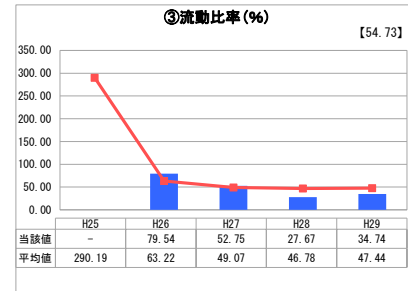
1. 経営の健全性・効率性



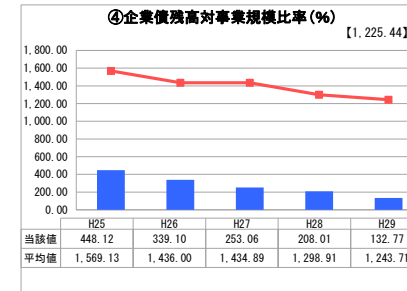
「経常損益」



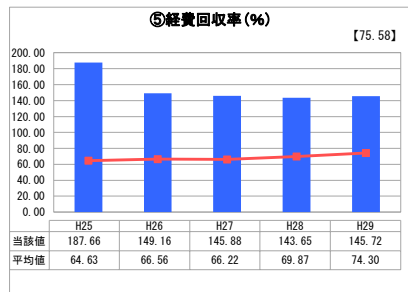
「累積欠損」



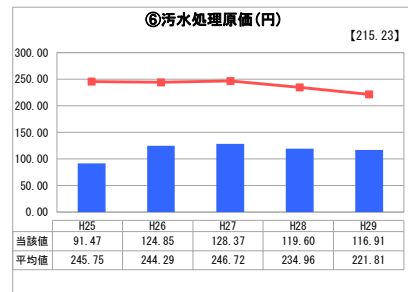
「支払能力」



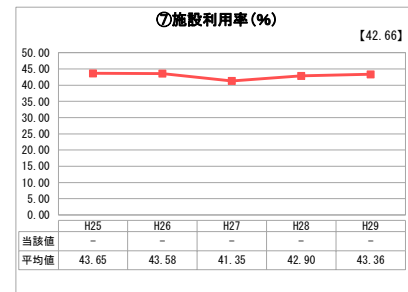
「債務残高」



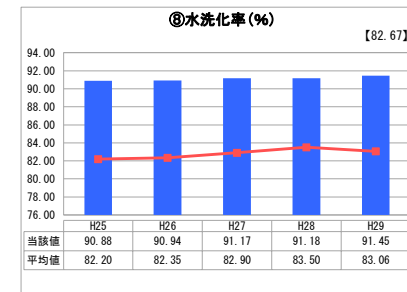
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

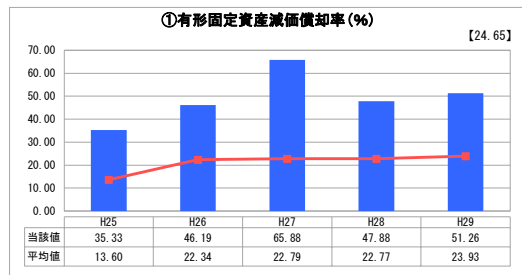


「施設の効率性」

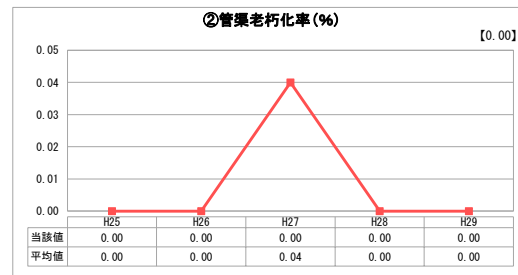


「使用料対象の捕捉」

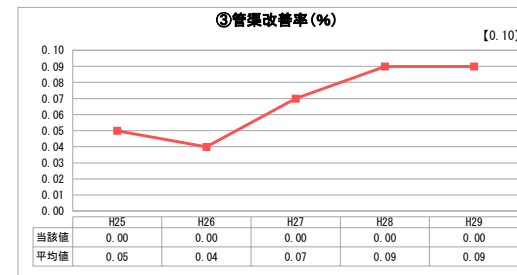
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。